ブロック別の動向

前月と比べたDI値の動き　↗ 改善　→ ほぼ横ばい　↘ 悪化

北海道

北海道は、悪化。サービス業では、夏場の観光需要が見られたものの、物価高に伴う地元客の節約志向の高まりを受け、飲食店を中心に売上・採算が悪化した。製造業では、原材料費の高騰に加え深刻な人手不足が足かせとなり、食料品製造業を中心に売上・採算が悪化した。自動車・付属品製造業の事業者からは、原材料費の値上げが重なり、価格転嫁が追い付かない、との声が聞かれた。

東北

東北は、改善。卸売業では、連日の猛暑に伴う清涼飲料の需要拡大を受け、飲食料品卸売業を中心に売上・採算が改善した。小売業では、帰省や猛暑による車の利用増に伴い、石油関連製品の事業者を中心に売上・採算が改善した。スーパーマーケットからは、地域の祭り開催に伴う集客効果により、今後の売上増加が期待できる、との声が聞かれた。

北陸信越

北陸信越は、改善。建設業では、公共工事の発注が限られる一方、解体工事が堅調に推移し、売上・採算が改善した。サービス業では、帰省や観光の需要増加を受けて、旅館や飲食店を中心に売上・採算が改善した。理美容業の事業者からは、来店客数は維持しているものの物価高の影響で客単価が低下しているため、新規顧客の獲得が課題である、との声が聞かれた。

関東

関東は、改善。製造業では、お盆期間の帰省やイベントの開催に伴い需要が高まった食料品製造業を中心に売上・採算が改善した。小売業では、インバウンド需要の増加や高額品の販売が好調なことにより、大型百貨店を中心に売上・採算が改善した。百貨店の事業者からは、好調な訪日外国人客による免税売上が全体をけん引しており、高単価商品の売上も堅調である、との声が聞かれた。

東海

東海は、悪化。製造業では、仕入価格の上昇に対して価格転嫁が追い付かず、金属製品製造業を中心に業況が悪化した。小売業では、光熱費等の経費増加や価格競争の影響を受け、総合スーパーを中心に採算が悪化した。パン・菓子製造の事業者からは、円安に伴う原材料価格の高騰に加え、酷暑や気候変動がイベント催事の集客に悪影響を及ぼすのではないか懸念である、との声が聞かれた。

関西

関西は、改善。卸売業では、観光需要の伸びを受け、外食を中心とした飲食料品関連を中心に売上が改善した。農畜産水産物卸売の事業者からは、人手不足が非常に深刻な状況となっており、現場作業の維持に向けて外国人材の雇用も本格的に検討している、との声が聞かれた。建設業では、資材価格や人件費の高騰に対する価格転嫁が進み、総合工事業を中心に売上が改善した。